

食ビジネスをめぐる状況と政策

2020年8月

農林水産省政策課 鈴木 健太

1

食ビジネスへの影響

食品小売・卸売の売上高の推移

飲食料品小売業は、スーパー、ドラッグストアは増加しているものの、百貨店、コンビニが減少しており、全体として横ばい傾向。

- 小売や外食を相手とする食料関係卸売は、一次産品、加工品ともに減少しており、4月は前年同月比10.2%の減少。

飲食料品小売業の売上高 (対前年同期比、%)

業態	1月	2月	3月	4月
スーパーマーケット	99.3	105.8	106.3	109.7
ドラッグストア	107.8	117.9	118.2	126.1
百貨店	100.2	97.6	77.7	50.0
コンビニエンスストア	101.3	104.6	94.5	88.7
全体	100.5	103.6	99.4	100.6

卸売業（食料関係）の売上高 (対前年同期比、%)

業態	1月	2月	3月	4月
農畜産物・水産物卸売業	100.6	99.6	96.0	87.5
食料・飲料卸売業	99.5	101.4	99.1	91.3
全体	99.9	100.8	97.8	89.8

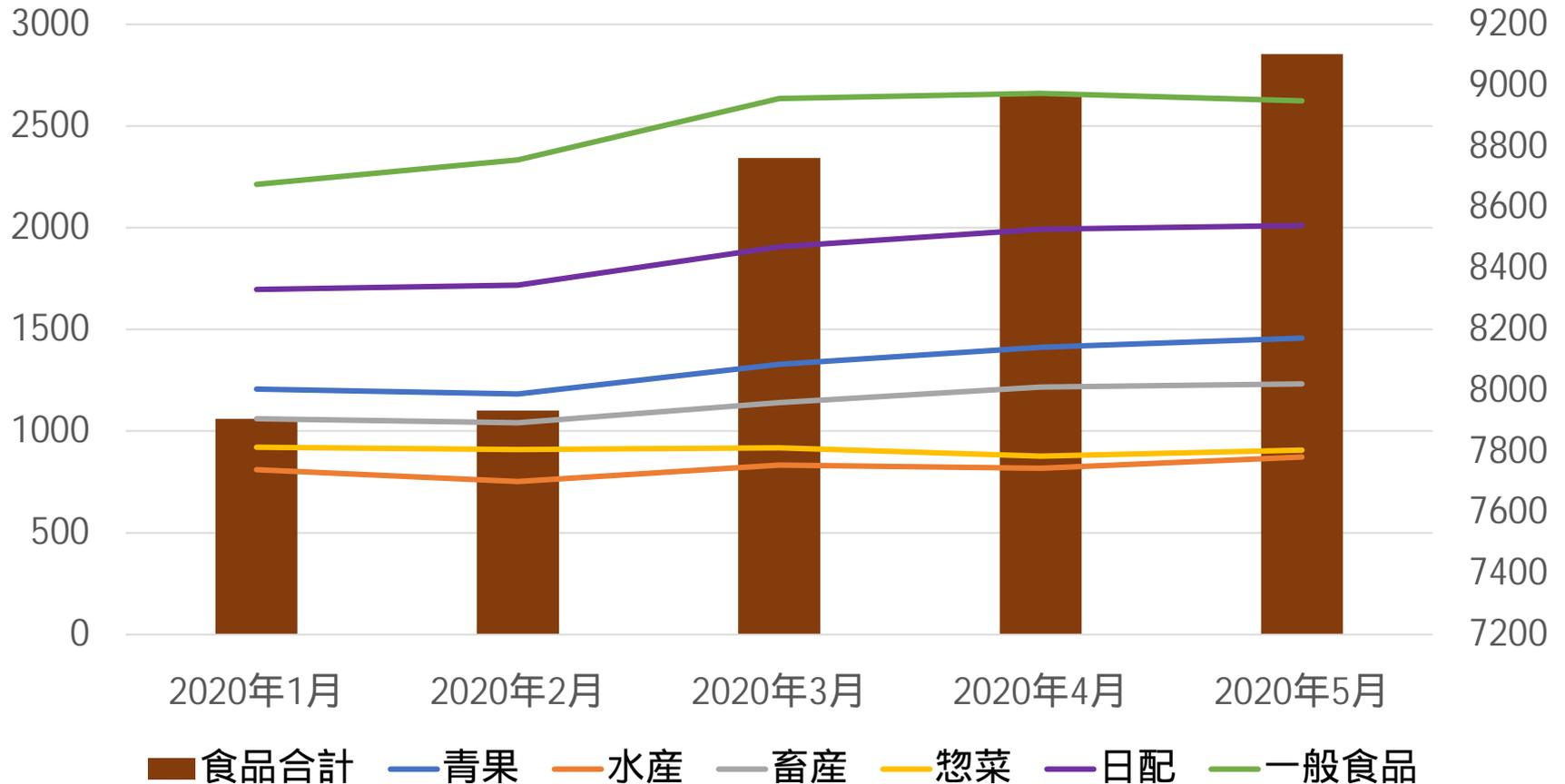
(資料) 経済産業省「商業動態統計」

食品小売の販売動向

食品スーパーの販売額が伸長。特に、2月から3月にかけての変化が顕著。

品目ごとに見ると、青果や畜産、日配等は伸張。一方、惣菜はイベント需要のほか、テレワークによる仕事帰りの惣菜ニーズが減少。

スーパーマーケット（SM）の全店売上高（単位：億円、食品合計は右軸）



食品小売の販売動向

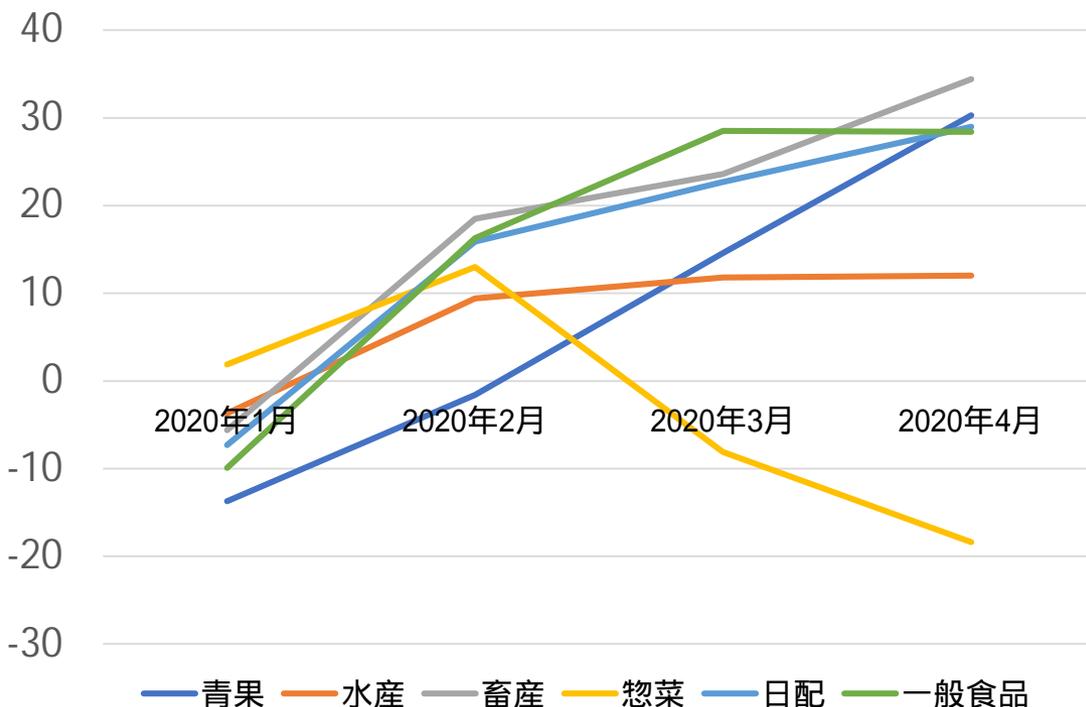
前年同月と比較した景況感では、惣菜以外の各品目は年明け以降続伸。

青果は、キャベツ、ニンジン、大根、玉ねぎ等の汎用性や保全性の高い野菜や、輸入オレンジ、キウイフルーツが好調。水産物も、生食が敬遠され、丸魚や刺身類は伸び悩んだものの、冷凍魚、干物などは好調。畜産は、豚肉、鶏肉のほか単価下落した和牛・銘柄牛も好調。ハム・ベーコン等の加工品のほか、特にハンバーグや餃子向けの挽肉も好調。

簡便さから、冷凍麺等の冷凍食品は伸長しているものの、惣菜は減少。オードブル、寿司の盛り合わせ等の行事需要のほか、仕事帰りの惣菜ニーズが減少。

カテゴリ別経営動向調査 (Diffusion Index)

冷凍食品POSデータ集計結果
(販売個数前年同月比)



	1～4月 累計	4月
調理冷食	105.8	104.6
冷凍ピザ ・グラタン	105.0	110.4
冷凍麺	114.3	125.1
冷凍米飯	114.6	120.9
冷凍農産	114.7	126.0
合計	109.7	113.7

資料：(一社)全国SM協会、(一社)日本SM協会、
オール日本SM協会「スーパーマーケット景気動向調査」

(KSP-SP調べ、冷食日報2020年5月8日付
<https://www.ssnp.co.jp/news/frozen/2020/05/2020-0508-1528-14.html> より引用)

外食産業の動向

飲食店の売上高は、3月以降、過去最大の下げ幅を記録

- 業態別では、特に、夜の営業が中心の「パブレストラン・居酒屋」が最大の落ち込み。テイクアウトや宅配等の下支えがあり、比較的好調であった「ファストフード」も、15.6%の減少
- 民間調査によれば、消費者の約半数が、緊急事態宣言解除後は解除前より、外食利用頻度を減らす意向。

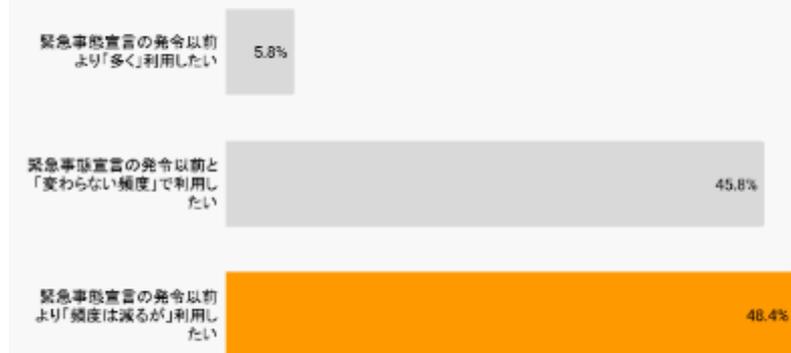
外食産業の売上高（対前年同期比）（％）

業態	1月	2月	3月	4月
ファストフード	103.5	109.8	93.1	84.4
ファミリーレストラン	100.2	102.0	93.1	40.9
パブレストラン・居酒屋	101.0	94.5	56.7	8.6
ディナーレストラン	102.3	97.4	59.5	16.0
喫茶	101.3	98.9	75.3	27.6
全体	101.9	104.8	82.7	60.4

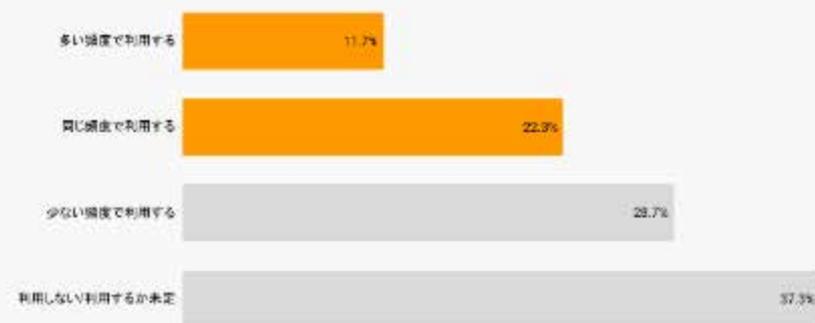
（資料）一般社団法人日本フードサービス協会

緊急事態宣言解除後の外食利用意向

< 外食利用頻度意向 >



< テイクアウト利用頻度意向 >



（資料）Retty「緊急事態宣言解除後の外食意向」

（2020年6月9日、Rettyアプリユーザー1,154人へのアンケート）

各品目の消費動向

2～3月に買いだめされたコメは、4月に一服している一方、パスタや小麦粉は4月以降も大きく増加。家庭消費増加により、国産の豚肉、大豆、鶏卵の卸売価格が上昇した一方、牛肉、鶏肉の価格は下落。

家計調査（4月）における大きな影響が見られた品目

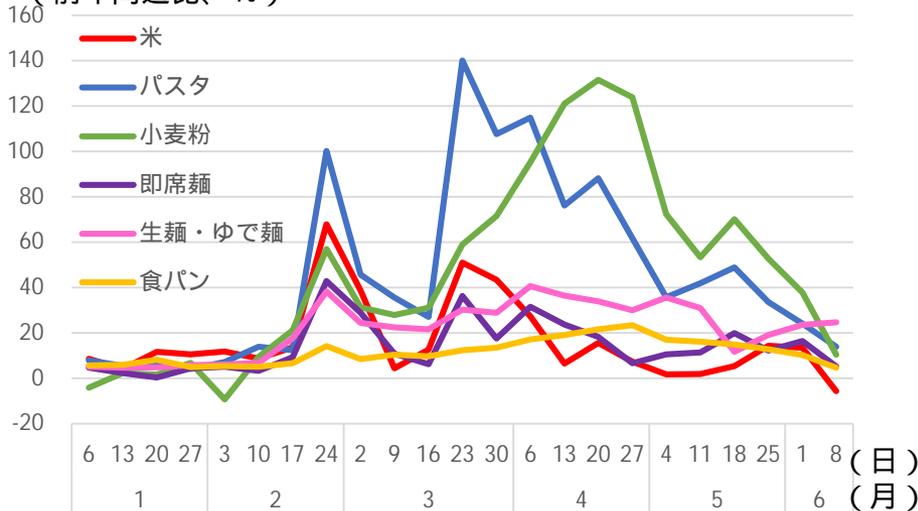
(%)

品目	2020年4月		(参考)2020年3月	
	対前年同月 実質増減率	寄与度	対前年同月 実質増減率	寄与度
食料				
米	11.8	0.07	15.3	0.09
パスタ	70.5	0.02	44.4	0.02
カップ麺	14.0	0.02	15.7	0.02
即席麺	43.3	0.02	30.6	0.02
生鮮肉	20.7	0.39	10.1	0.19
冷凍調理食品	19.0	0.04	22.2	0.04
チューハイ・カクテル	42.1	0.04	22.8	0.02
食事代	▲ 63.3	▲ 2.47	▲ 30.3	▲ 1.23
飲酒代	▲ 90.3	▲ 0.51	▲ 53.5	▲ 0.33

(資料) 総務省「家計調査」

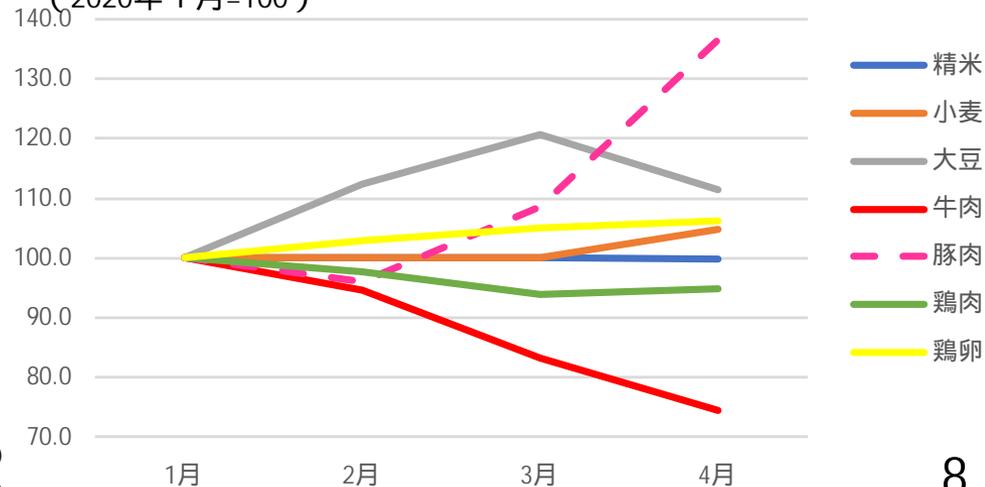
品目別販売金額 (POSデータ)

(前年同週比、%)



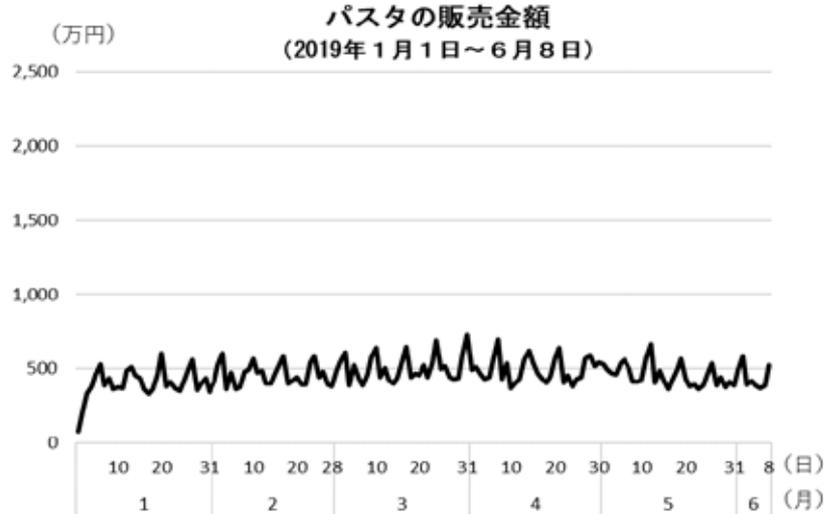
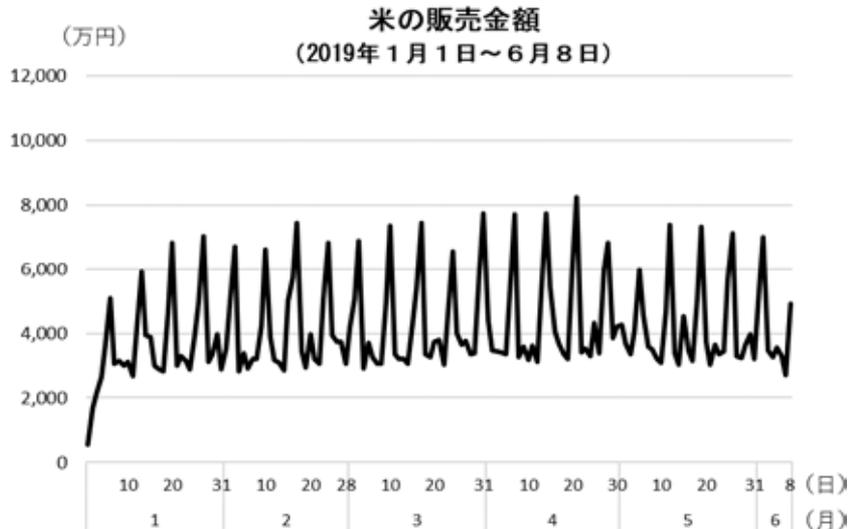
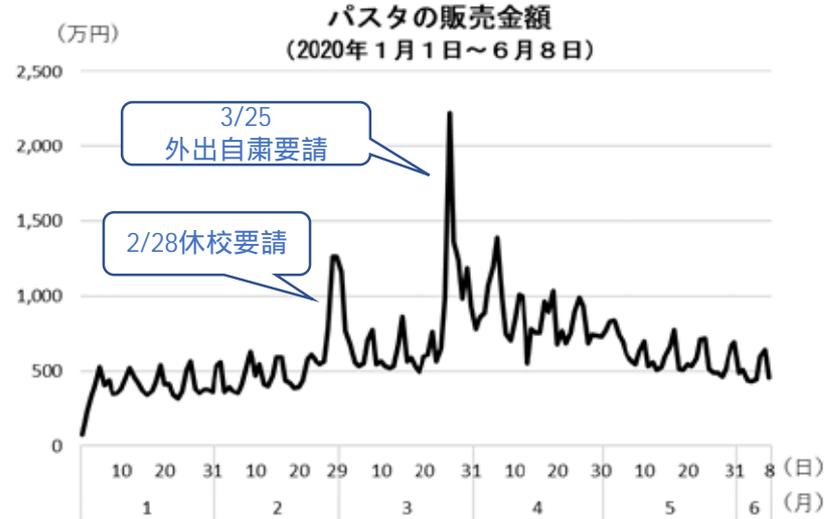
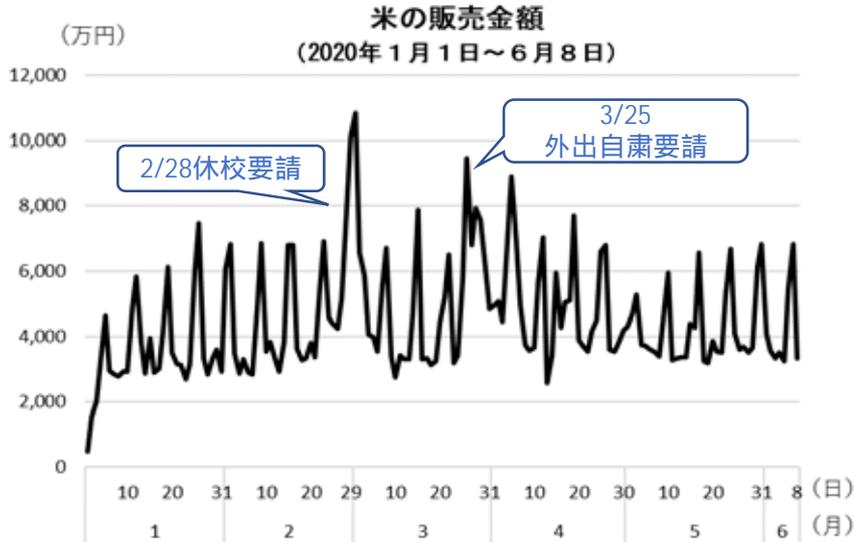
国内企業物価

(2020年1月=100)



各品目の消費動向

休校要請や外出自粛要請後に、米やパスタの販売金額が一時的に上昇。



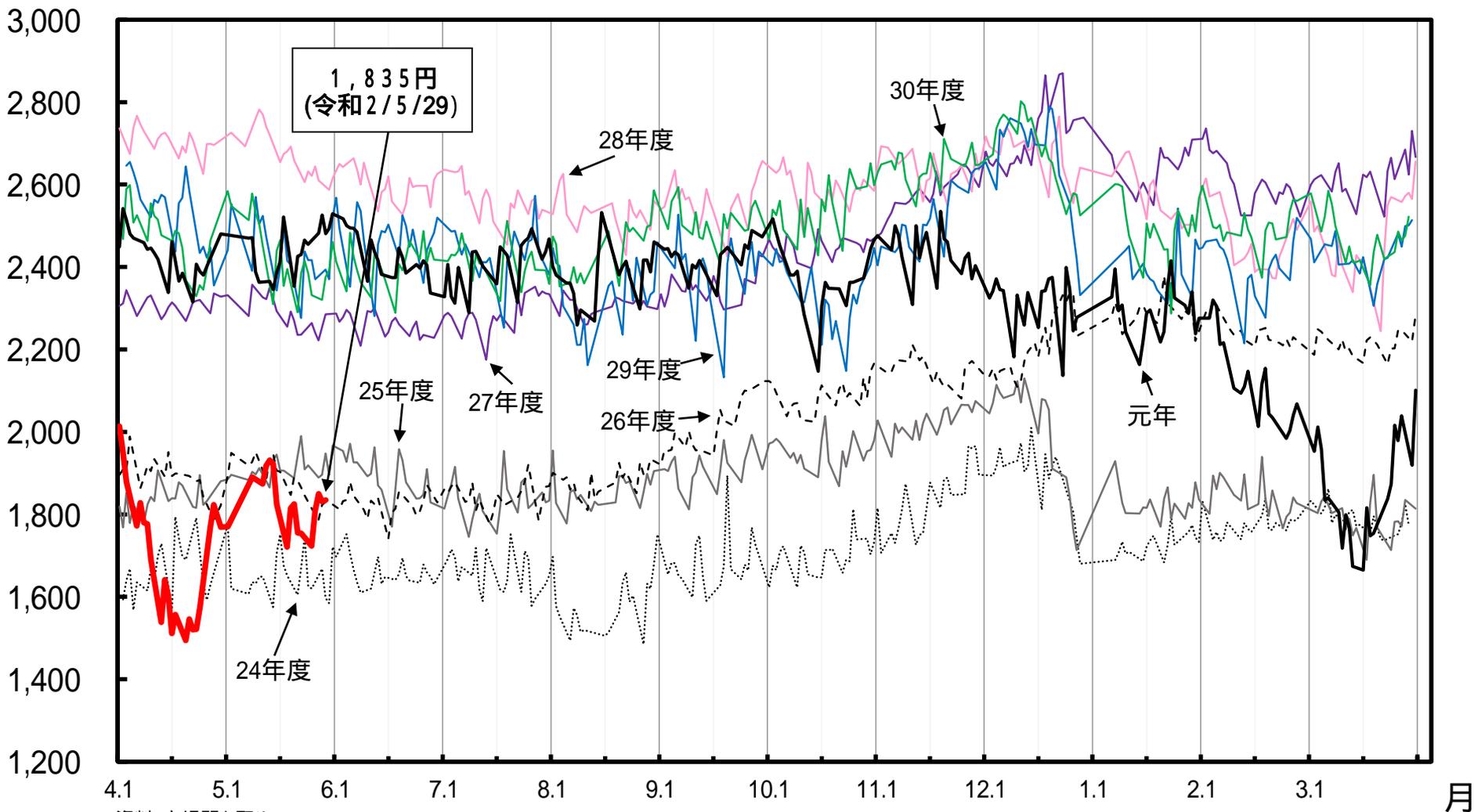
図：米、パスタの販売金額の推移

(備考) (株) KSP-SPが提供するPOSデータ(日次)より作成。
販売金額 = 平均単価 × 販売数量

和牛の価格動向

円 / kg

牛枝肉卸売価格(和牛去勢A-4)の推移(東京市場)



資料: 市場聞き取り

注1: 東京食肉市場の生体搬入物の重量加重平均価格(瑕疵除く)である。

注2: 土・日曜日、祝日の価格を除く。

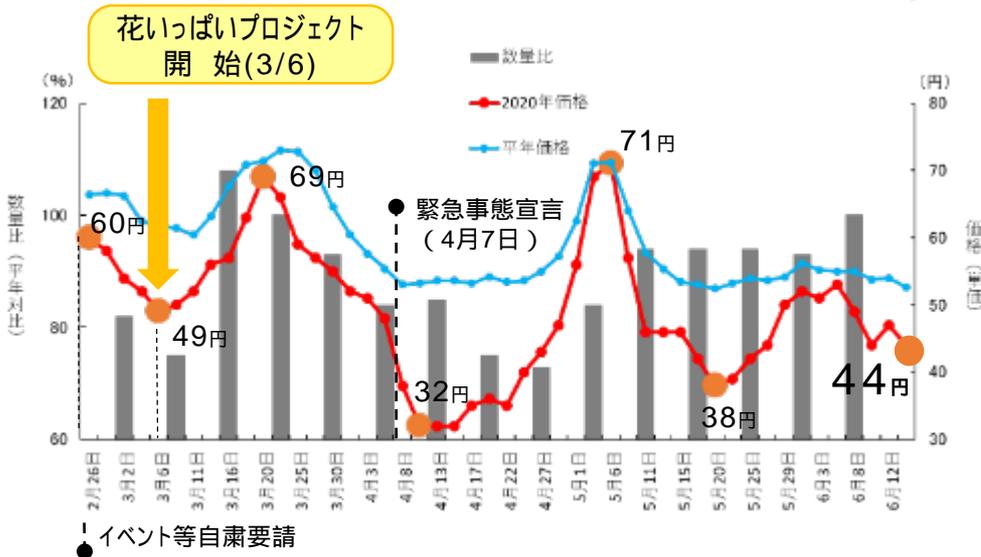
注3: 卸売価格は税込み価格(平成26年4月1日以降は消費税5%から8%に変更した価格)である。

花きの価格推移と「花いっぱいプロジェクト」

品目	2月26日 価格	3月6日 価格	6月15日 価格	
			価格	平年比
切り花類	60円	49円	44円	16%
菊類	45円	40円	36円	8%
バラ類	102円	84円	44円	23%
ガーベラ	31円	24円	16円	24%

資料：日農INDEX（日本農業新聞データ（各地区大手7卸のデータ）を元に農林水産省作成
平年比は、過去5年間の価格を元にした平均値との比較

切り花類の価格推移



資料：日農INDEX（日本農業新聞データ（各地区大手7卸のデータ）を元に農林水産省作成
平年比は、過去5年間の価格を元にした平均値

花いっぱいプロジェクト 最近の動き

コロナで沈む街を花で飾る（JR広島駅）



・JR広島駅の構内に色彩豊かな花々が飾られている。これらの花は、本来廃棄される予定だった。この取組は、新型コロナウイルスの影響で多くのイベントが中止や延期となり、苦境に立たされている花の生産者や生花店を支援しようというもので、日本花き振興協議会が国の補助金を活用し、様々な花を飾っている。JR広島駅での展示は今月17日までだが、今後、県庁や市役所などでもフラワーアレンジメントが作られる予定。

（花滴による市場プロジェクトの一環）

コロナで出荷止めの花々を活用 農高生が実習で

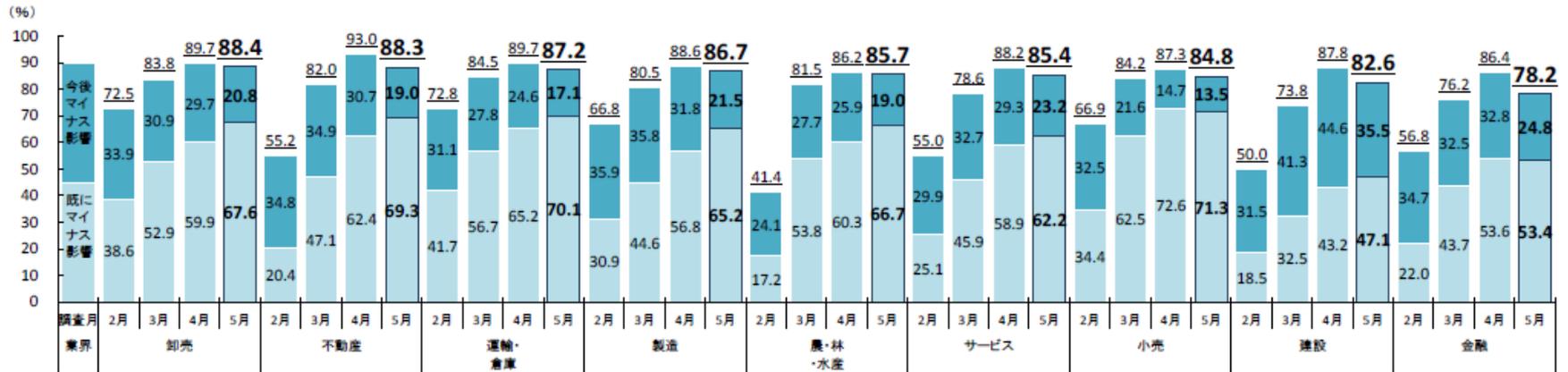


・新型コロナウイルス感染症の拡大によるイベントの中止が続く中、市場に出荷されずに余った花を活用し、滋賀県立湖南農業高校（草津市）花緑科の生徒たちがフラワーアレンジメントの実習に取り組んだ。完成した作品が、草津市役所などで展示されている。

（中日新聞 電子版 6月12日）

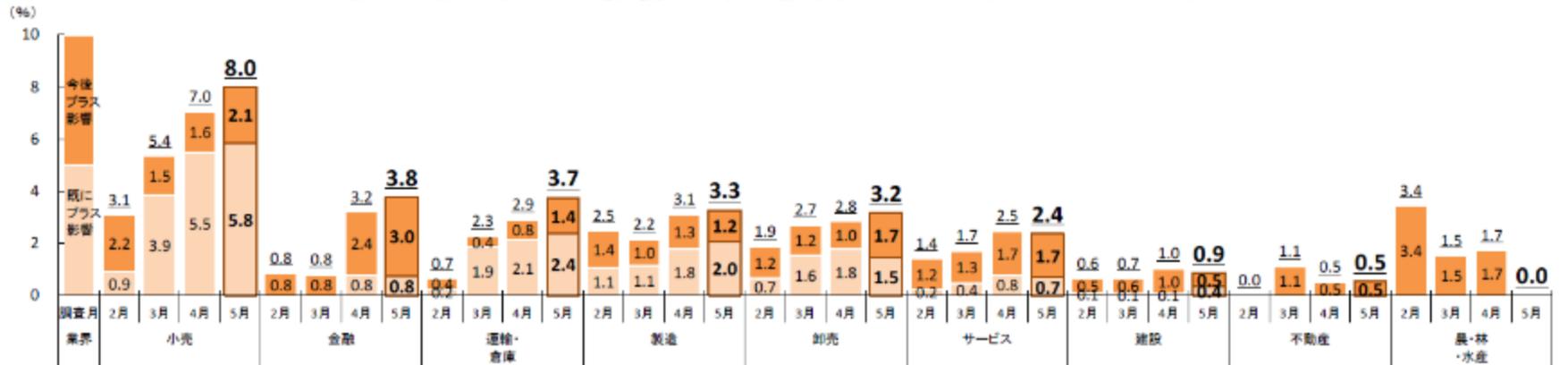
コロナ発生下における企業業績への影響

業績に『マイナスの影響がある』割合 ～ 業界別・月次比較 ～



注1: 下線の値は『マイナスの影響がある』(『既にマイナスの影響がある』と『今後マイナスの影響がある』の合計)の割合
 注2: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも一致しない

業績に『プラスの影響がある』割合 ～ 業界別・月次比較 ～



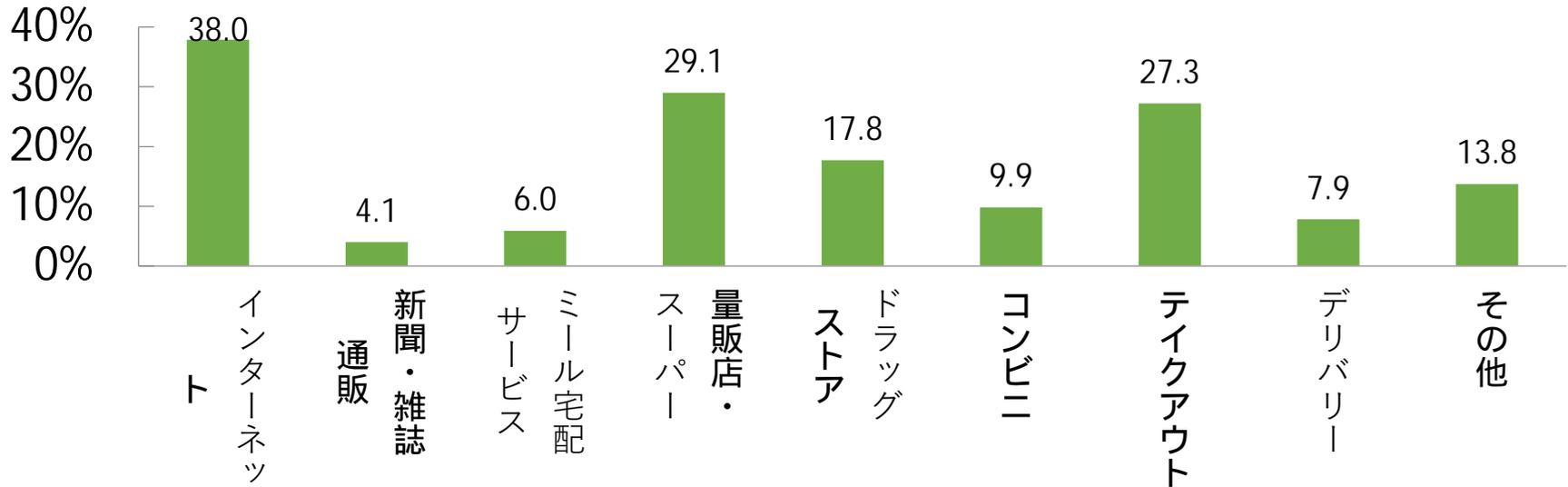
注1: 下線の値は『プラスの影響がある』(『既にプラスの影響がある』と『今後プラスの影響がある』の合計)の割合
 注2: 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも一致しない

消費行動・意識の変化

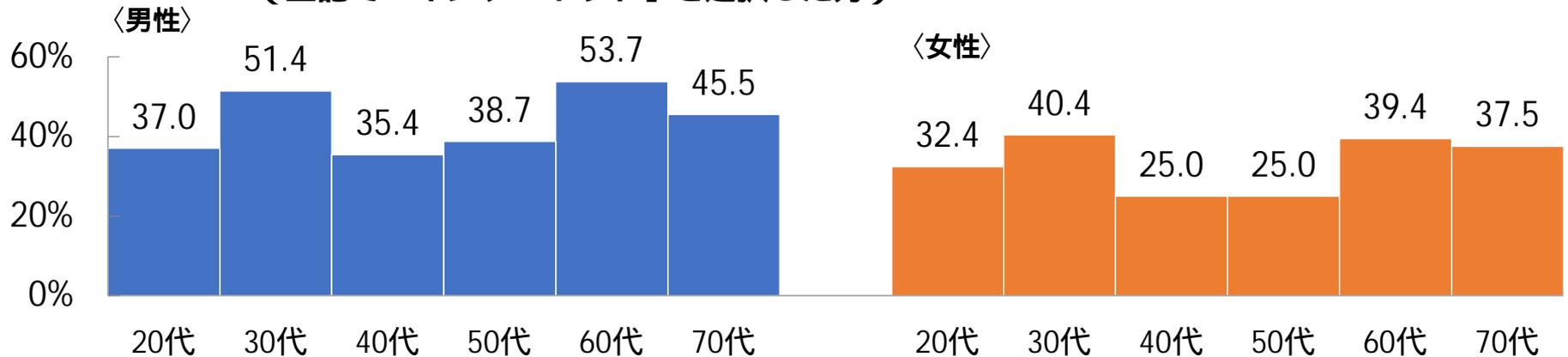
2

コロナ下での食品購入方法の変化

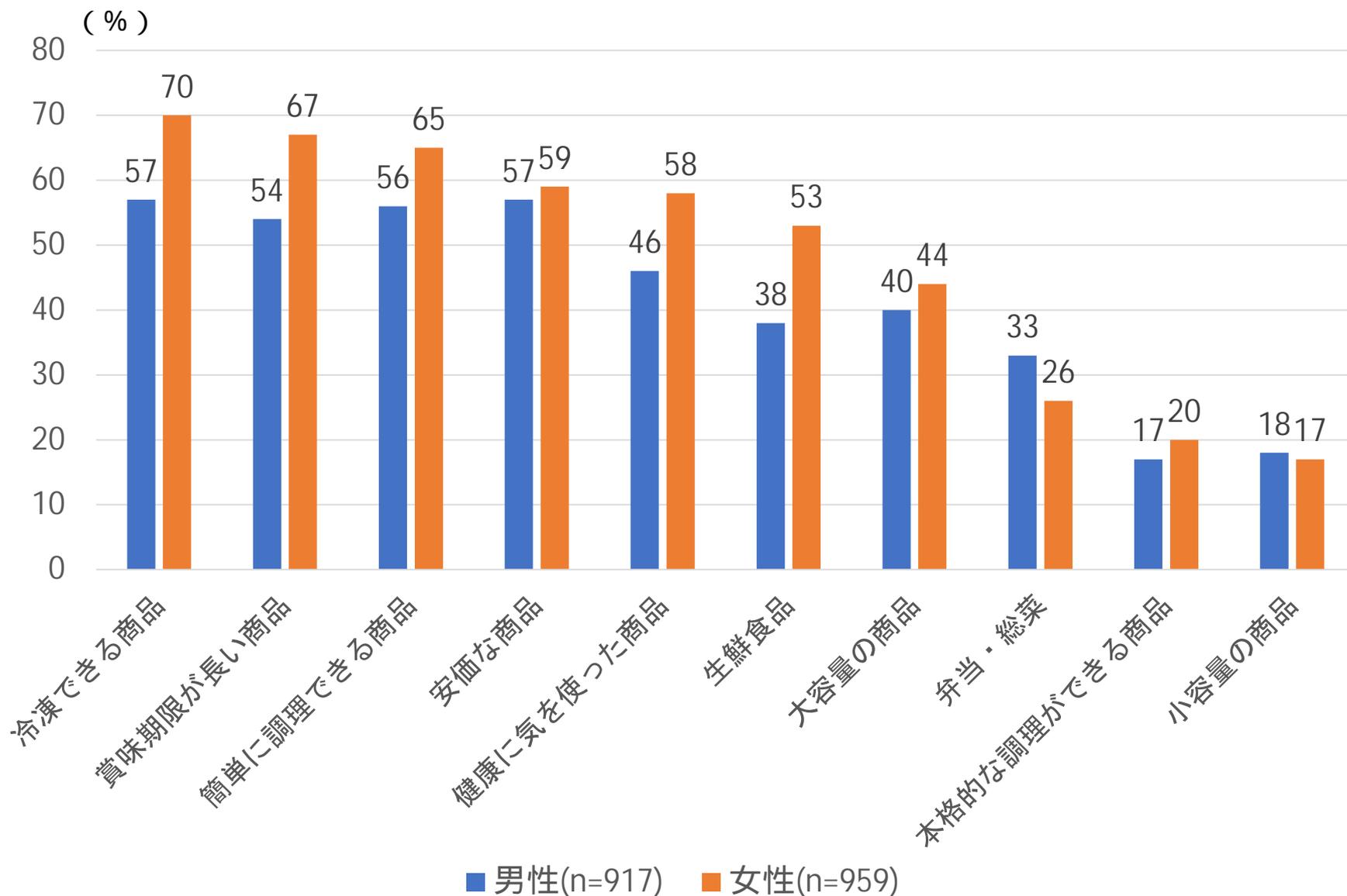
【利用する機会や量が増加した購入方法】（3つまで/変化があった人）



【男女年代別 「インターネット購入が増えた」回答者の割合】
（上記で「インターネット」を選択した方）

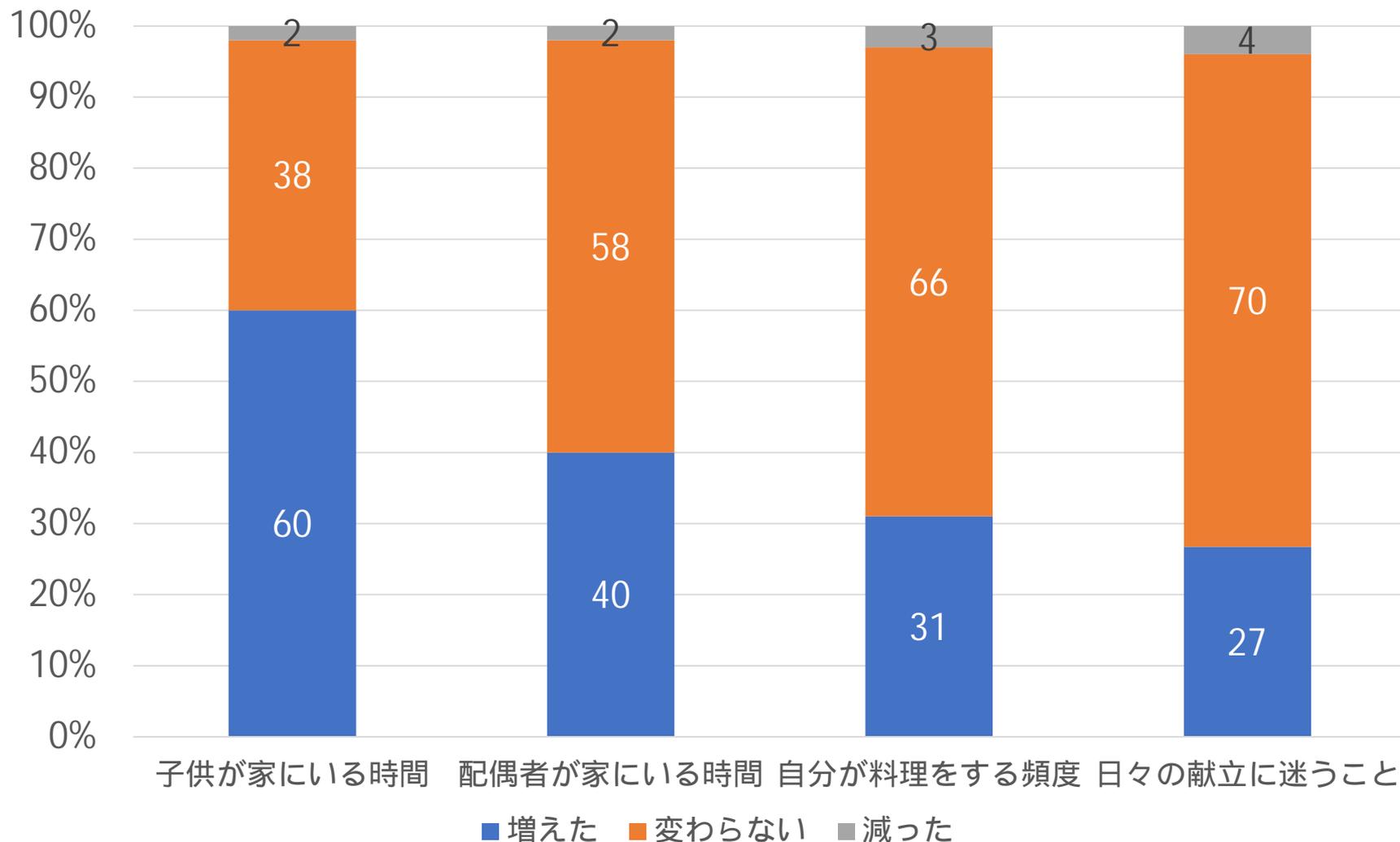


コロナ発生下で購入を増やしたいと考える商品の特徴・種類



<出典>公益財団法人流通経済研究所「新型コロナウイルス問題の中、消費者が求める商品」
(2020.4.22調査、有効回答数1,876件)

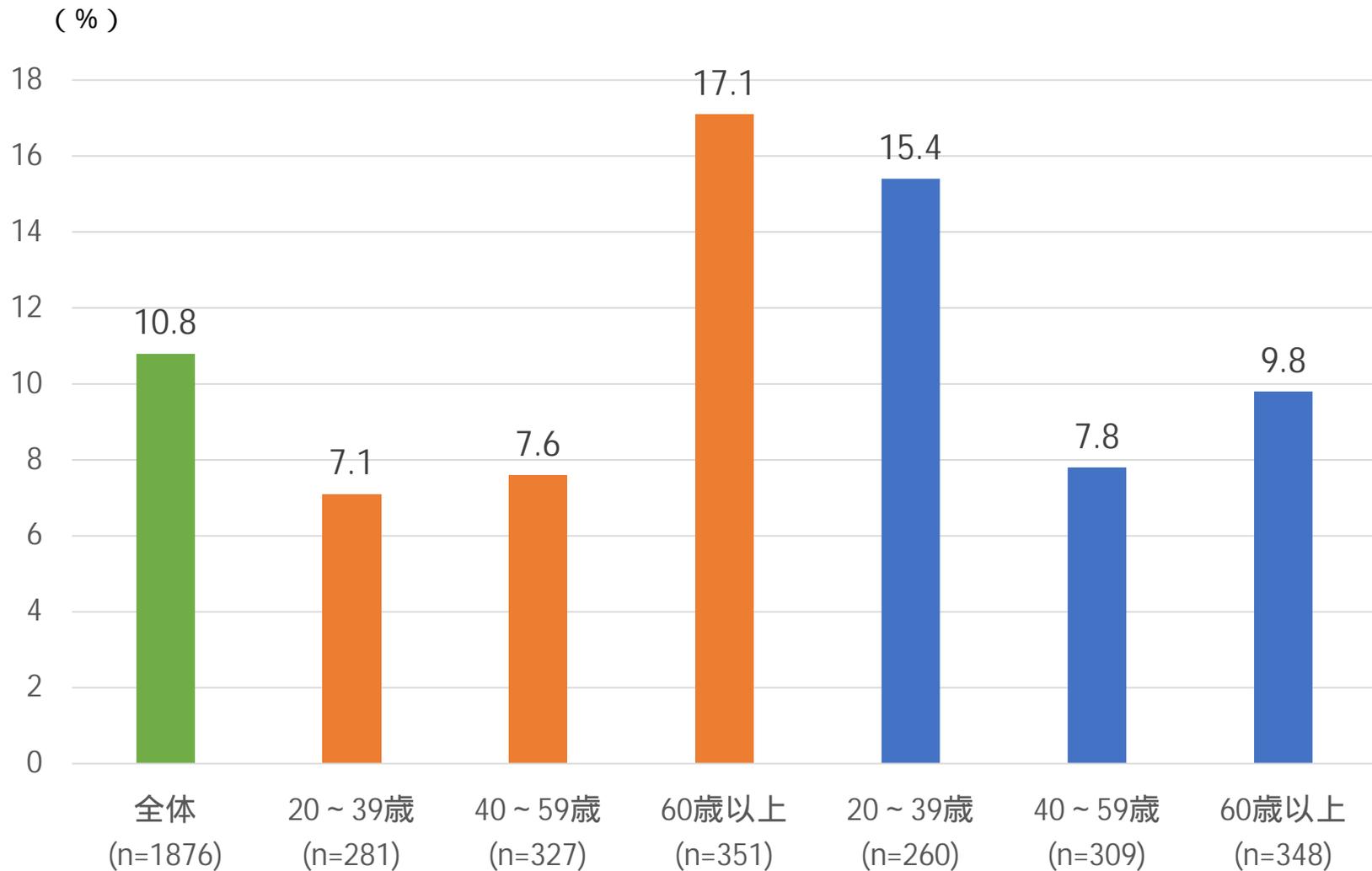
コロナ発生下における生活スタイルの変化



<出典>公益財団法人流通経済研究所「新型コロナウイルス問題の中、消費者が求める商品」
(2020.4.22調査、有効回答数1,876件)

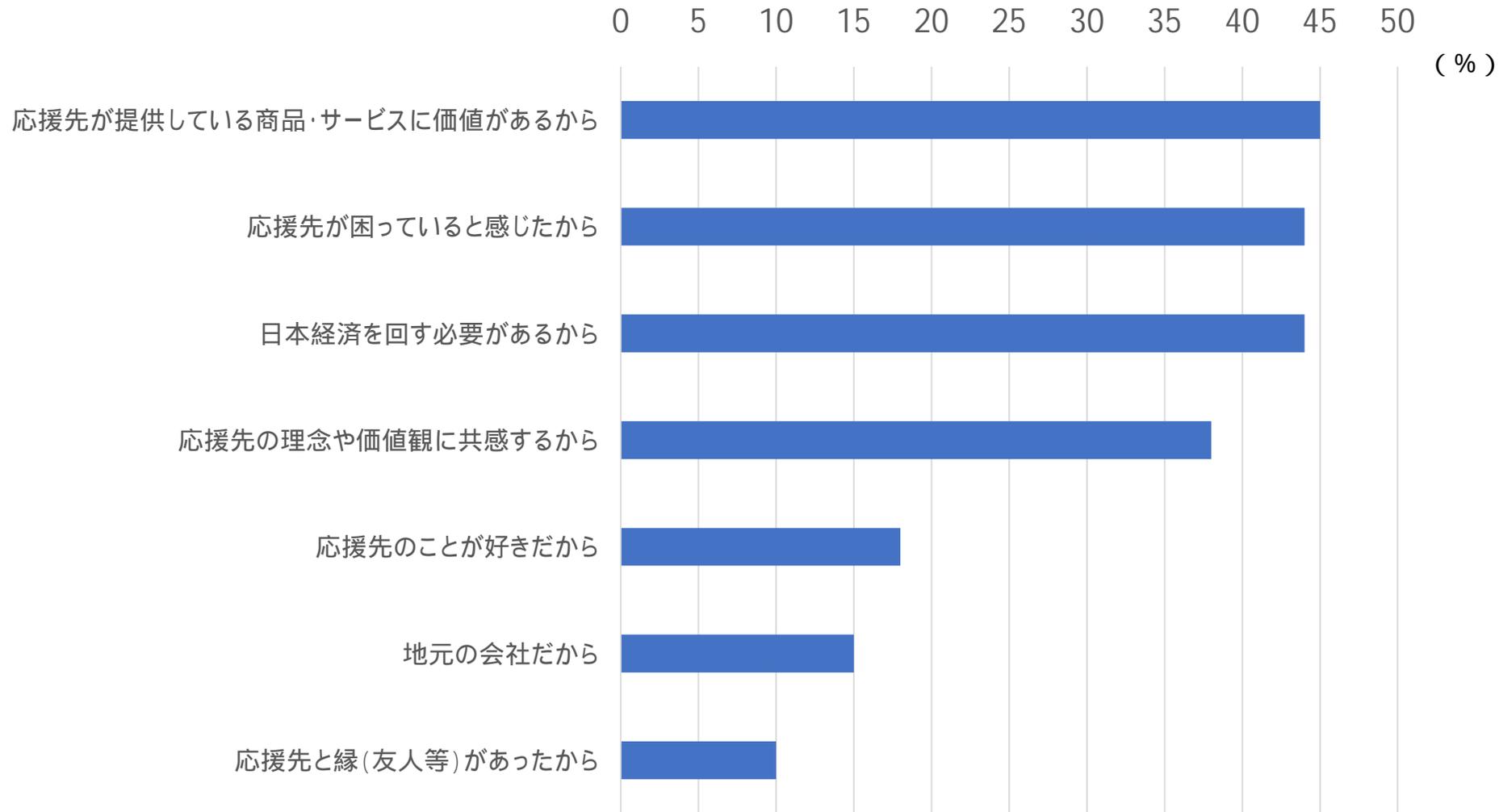
自分が料理をする頻度、日々の献立に迷うことについては、週に1日以上料理をする回答者にのみ尋ねた。

農水産業の生産者に対して応援消費を行った人の割合



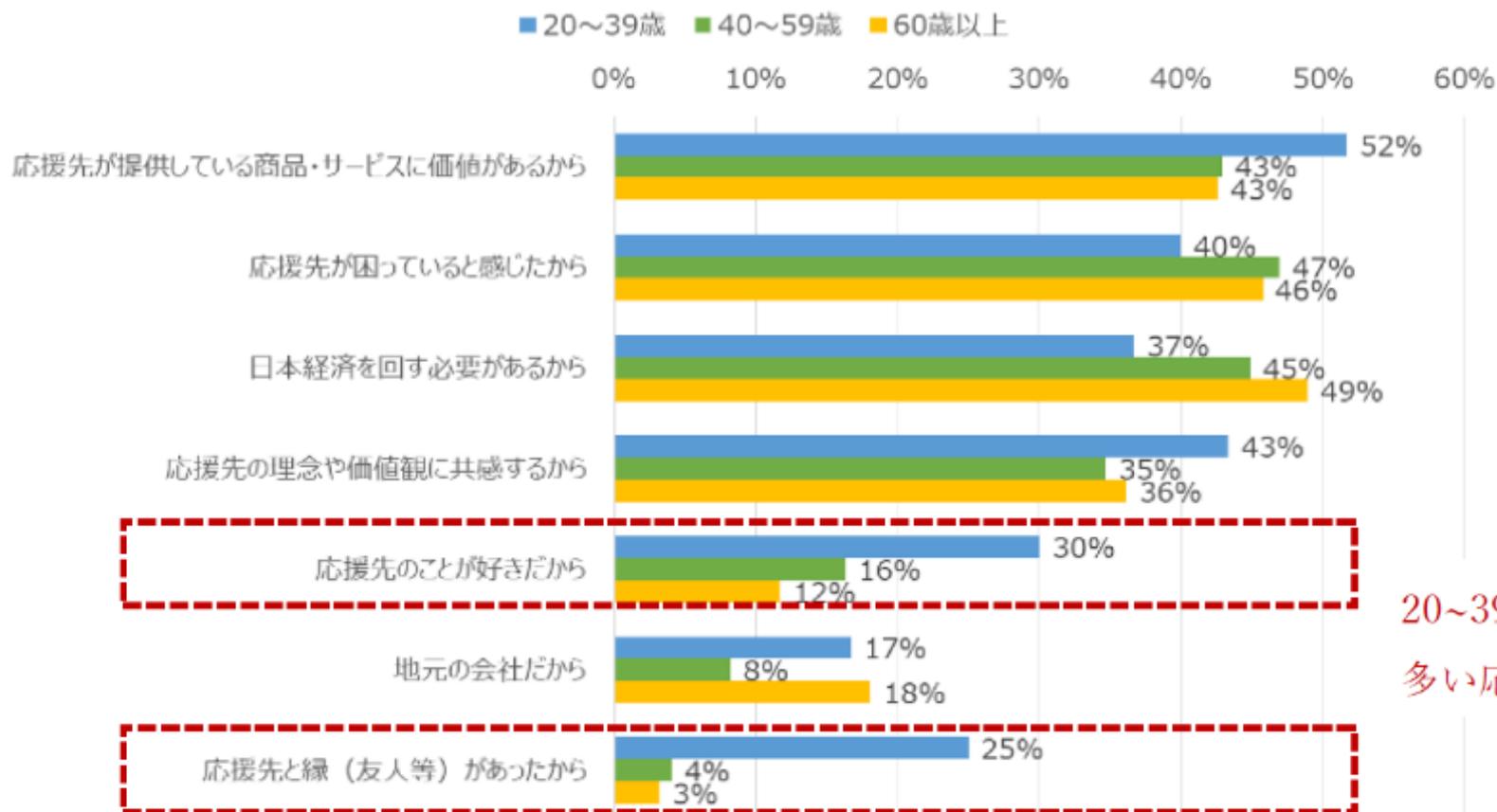
<出典>公益財団法人流通経済研究所「新型コロナウイルス問題下における応援消費の獲得方法の提案」
(2020.4.22調査、有効回答数1,876件)

農水産業の生産者に対して応援消費を行った理由（複数回答）



<出典>公益財団法人流通経済研究所「新型コロナウイルス問題下における応援消費の獲得方法の提案」
(2020.4.22調査、有効回答数1,876件)

農水産業の生産者に対して応援消費を行った理由（年代別）



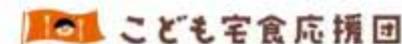
20～39歳の該当者が多い応援消費理由

<出典>公益財団法人流通経済研究所「新型コロナウイルス問題下における応援消費の獲得方法の提案」
(2020.4.22調査、有効回答数1,876件)

コロナ発生や感染予防策が現在の生活に与えた影響

分析結果サマリー

生活への影響詳細



コロナ禍で最も影響が大きかったのは**支出が増えたこと**。収入の減少よりも、支出の増加の影響の方が大きい。ついで、疲労や精神的な不安、家事、育児のストレスの影響が大きくなっている。

コロナウイルスやその感染予防策(一斉休校など)が現在の生活に与えた影響について、あてはまるものをお選びください。



コロナウイルスに関する影響アンケート回答世帯(n=1,015)

<出典>一般社団法人こども宅食応援団「子ども宅食利用家庭1000世帯における新型コロナウイルスの影響に関するアンケート調査報告書」(2020.5.11~24調査、回答者1,015名)

3

政策対応

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の影響により、現場では、需要減退に伴う在庫の滞留や労働力の不足など、**厳しい状況に直面**。農林水産業は植物や動物等の生き物を扱う産業であり、その成長や生育を止めることはできないため、今回のような**需要の大幅な減少にすぐに対応することは困難**。

国家の最も基本的な責務である**国民への食料の安定供給を確保**するため、4月に成立した緊急経済対策等により必要な対策を措置。

農林水産関係令和2年度1次補正予算（4月30日成立）：5,448億円 2次補正予算（6月12日成立）：658億円

需要喚起

現場での影響

3月の農林水産物の輸出額は前年同月比1割減
牛肉では、
・国産価格が3～5月に2～3割減
・3月の輸出額が前年同月比4割減
花きは、4月の切り花の取引価格が
平年の半分まで一時低迷

措置した対策

在庫の滞留等が生じている品目について、農林漁業団体が行う、学校給食への提供やネット販売等の**販売促進**の取組を支援
輸出商流の維持・拡大に向け、食品製造設備等の整備・導入や、新規市場の維持・開拓に必要な商談等を支援

外食等対策

現場への影響

インバウンドや団体予約の減少、営業自粛等による売上げの減少
・4月の外食売上高は前年同月比4割減

措置した対策

外食事業者や食品流通事業者の債務保証等への**資金繰り支援**
収束後のインバウンド回復に向けた、衛生管理の徹底等のための施設導入・店舗改装を支援
流行収束後、オンライン予約でのクーポン付与、割引食事券の発行等による**飲食業の需要喚起**

労働力確保

現場への影響

農業分野では、5/20時点で約2,500名の技能実習生の受入れ見通しが立たず
・中国：約1,420名
・ベトナム：約440名
・フィリピン：約220名

措置した対策

農業経験のある**即戦力人材等**による**援農**について、掛増し労賃や研修費等を支援
農業高校・農業大学校への研修用機械・設備導入を支援
法務省が講ずる技能実習生等の在留資格変更（最長1年間の滞在が可能）により、**他分野からの再就職**を促進

その他生産支援対策

農林漁業者の経営再建に必要な**運転資金の実質無利子化・無担保化**等を措置
野菜価格安定制度や漁業収入安定制度について資金を追加、牛マルキンの生産者負担金の納付猶予を実施する等、**充実した経営安定対策**を措置
次期作期を迎える野菜・花き等について円滑な作付けを確保できるよう、種苗等の資材購入・機械レンタル等を支援
国産農産物への切替えに向けた、野菜等の加工に必要な施設整備・改修を支援
感染防止対策など経営の継続に向けた農林漁業者の取組を支援

食料供給の実態や支援策等の情報をHP、SNS、動画で発信

新型コロナウイルス感染症対策

農林水産省 経済産業省 消費者庁

食料品についてのお願い

食料品は、**十分な供給量を確保している**ので、**安心して、落ち着いた購買行動を**お願いいたします。

食料品は必要な分だけ買うようにしましょう。

過度な買いだめや買い急ぎはしないでください。

転売目的の購入はしないでください。

食べ残さずおいしく食べたり、食品ロスにもなってしまいません。

転売目的の購入は罰せられない行儀です。



HPを通じた落ち着いた購買行動の呼びかけ



小麦の輸入状況の説明動画



支援策の説明動画

食料品の供給状況(7月31日現在)

食品小売・卸

[スーパーマーケット]

○次第に落ち着きつつあり、お客さまにさらに安心して
お買い物をしていただけるように、物流事業者のご
協力もいただき、引き続きサプライチェーン全体で
安定供給に努めていく。

(日本チェーンストア協会)

○お客様のお買い物行動も徐々に落ち着きを取り戻
しつつあり、そのため商品供給も安定してきている。
引き続きメーカー・卸と連携を図り、可能な限り食
品の安定供給に努めていく。

(日本スーパーマーケット協会)

[コンビニエンスストア]

○商品供給については、おおむね平常に戻っているの
で、引き続き生活インフラとしての役割をしっかりと
果たしていく。

(日本フランチャイズチェーン協会)

[食品卸]

○受発注はおおむね平常に戻っており、引き続きお
取引先メーカーと連携して安定供給に努めていく。

(日本加工食品卸協会)

食品メーカー

[即席めん]



・平時と変わらない状況である。

[冷凍食品]



・平時と変わらない状況である。

[パスタ]



・家庭用を中心としたフル生産体制や製造を主力商品に絞る
特別な増産により、品薄状態は解消しつつある。

・輸入品は順調に届いている。

[レトルト食品]



・平時と変わらない状況である。

[パン]



・平時と変わらない状況である。

[小麦粉・ 小麦粉製品]



・原料の小麦は順調に輸入されており、在庫も潤沢にある。

・品薄状態の解消に向けて家庭用を中心としたフル生産体制
による増産体制を継続している。

業務継続に関する農林漁業者・食品事業者向けガイドライン

農林漁業者・食品事業者のためのガイドラインを3月13日に発表

食品産業のみなさまへ

新型コロナウイルス対策に
関する農林水産省対策本部

卸売市場等の食品産業は、
国民への食料の安定供給に重要な役割を担っています。
従業員に新型コロナウイルス感染症の患者が発生した
時に、事業所が業務継続を図る際の基本的なポイント
をまとめました。

(令和2年5月8日の知見に基づ作成)

※「食品産業事業者の従業員に新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に
関する基本的なガイドライン」https://www.maff.go.jp/saigai/n_coronavirus/attach/pdf/nci_guideline-a.pdf

1 予防対策の徹底

厚生労働省等の情報に基づいて、徹底した対策をお願いします。

- 従業員に感染予防策を要請します。
 - ① 体温の測定と記録
 - ② 発熱などの症状がある場合は、所属長への連絡と自宅待機の徹底
 - ③ 比較的軽い風邪症状が4日以上続く（高齢者や基礎疾患がある方等の重症化しやすい方、妊婦の方は比較的軽い風邪症状がある）場合等は、すぐに所属長に連絡のうえ、保健所に問い合わせ
- 事業者の業態に応じて感染予防策を行って下さい。
 - ※卸売市場のせり場など常時不特定多数の者が集合する場所では、できる限りマスクを着用し、着用しない場合は適切な距離を保って取引を行うことを徹底する、など。
 - ※スーパーマーケット等の店舗では、体調のすぐれない方への来店自棄のお願いやレジを待つ際の適切な距離の確保のための誘導、など。
 - ※食堂、レストラン、喫茶店等では、換気や人と人との間隔を適切に取る、など。
- 従業員から診断結果等の報告を速やかに受ける体制を構築して下さい。
- 手洗いなどの感染予防策を徹底して下さい。
 - ① 出勤時やトイレ使用後、作業場への入場時の手洗い、手指の消毒
 - ② できる限りマスクを着用、咳エチケットの徹底
 - ③ 通常の清掃に加え、水と洗剤を用いて人がよく触れるところを試き取り清掃

2 患者発生時の患者、濃厚接触者への対応

患者が発生した場合は保健所の指示に従い対応してください。

- 患者が確認された場合には、保健所に報告し、対応について指導を受けるとともに、従業員に周知して下さい。
- 保健所の調査に協力し、濃厚接触者の確定を受けます。
- 濃厚接触者と確定された従業員には、14日間出勤停止し、健康観察を実施して下さい。
- 濃厚接触者と確定された従業員は、発熱又は呼吸器症状を呈した場合は、保健所に連絡し、行政検査を受検します。

農林水産省

3 施設設備等の消毒の実施

- 保健所の指示に従って、感染者が勤務した区域^{※1}の消毒を実施します。緊急を要し、自ら行う場合には、感染者が勤務した区域のうち、頻りに手指が触れる箇所^{※2}を中心に、アルコール^{※3}で拭き取り等を実施して下さい。

※1 売場、厨房、製造加工施設、倉庫（冷凍庫・冷蔵庫含む）、執務室等
※2 机、ドアノブ、スイッチ類、手すり等
※3 エタノール又はイソプロパノール(70%)[入手できない場合はエタノール(60%台)]又は次亜塩素酸ナトリウム(0.05%以上)

- 一般的な衛生管理が実施されていれば、感染者が発生した施設等は操業停止や食品廃棄などの対応をとる必要はありません。

4 業務の継続

食料品の安定供給確保のため業務が継続できるよう準備をお願いします。

- 重要業務として優先的に継続させる業務を選定し、重要業務を継続するために必要となる人員、物的資源（マスク、手袋、消毒液等）等を把握してください。
- 従業員の確保状況に応じた業務マニュアルを作成してください。

<従業員の確保状況による段階別の業務継続体制>

第一段階 (業務の内容) 原則通常どおりの業務
(人員体制) 早出・残業等で業務対応

第二段階 (業務の内容) 重要業務の継続を中心、その他の業務は縮小
※小規模の事業所にあつては業務全体の休止も含め判断
(人員体制) 早出・残業等での業務対応
他部門からの応援

- 小規模な事業所が業務全体を休止する場合は、他の事業所や所属する組合、協会等に相談し、顧客への供給に努めてください。

卸売市場等の食品産業は、国民への食料の安定供給に重要な役割を担っており、新型コロナウイルス感染症の患者が発生した時の対応及び業務継続を図る際の基本的なポイントをお示ししました。農林水産省は、重要な役割を担う皆さまの業務が継続できるように全面的に協力いたしますので、ガイドラインを参考に対応していただきますようよろしくお願いいたします。

ガイドラインに基づく飲食店での取組事例

入店時

- ・液晶モニターにより入店の案内、検温、アルコールによる手指消毒を行う



- ・次亜塩素酸水のミストシャワーを経て入店

農林水産省は設備投資や業態転換、需要喚起を図るためのキャンペーン等に対して支援



飲食提供

- ・客のスマホによるモバイルオーダーへの対応
- ・料理にフードカバーを付けた状態で提供



- ・テーブル上に十字に仕切ったアクリル板



行き場のない生乳の消費拡大対策

- 業務用を中心とした需要減少により行き場のない生乳が発生しないよう、メーカーが抱える脱脂粉乳等の在庫解消対策や医療福祉施設等への牛乳の無償提供に対する支援を措置
- 牛乳やヨーグルト等の消費拡大を呼びかけるプラスワンプロジェクトを4月21日からスタート
- プロジェクト開始以降、家庭用牛乳の消費が約2割増加（生乳約3万トン 学校給食用牛乳1ヶ月分の約6割に相当）

公式ツイッターの活用

MAFF 農林水産省
@MAFF_JAPAN

【お知らせ】需要が減少している牛乳乳製品の消費拡大を図るため、牛乳やヨーグルトを普段より1本多く消費することを推進する「プラスワンプロジェクト」を始めました。



日本の牛乳を救う「プラスワンプロジェクト」
農林水産省牛乳乳製品課の下村です。本日は皆様にお願ひがあります。牛は、毎日乳を搾らないと病気になってしまいま...
youtube.com

午後0:02 - 2020年4月21日 - Twitter Web App

人気YouTuberとのコラボ動画等の配信



花きの需要減少への対応

省公式Facebook、Twitter等の活用



省公式Facebook、Twitter



省公式YouTubeチャンネル (BUZZ MAFF)

・省公式Facebook、Twitter、省公式YouTubeチャンネル (BUZZ MAFF) 等を通じ、花いっぱいプロジェクトの情報発信を実施。

母の日から母の月へ



MAY is MOTHER'S MONTH
今年の5月は「母の月」

・今年は「母の日」を1日から1か月に分散して取り組む「母の月」を業界一丸となって取組み、当省もその取組を応援

母の日を過ぎても贈れるフラワーギフト

正面玄関の花飾り



国会や重要会議はコサージュ着用



・母の日に生花店に来店や注文などが殺到することの配慮から、母の日を過ぎても通販サイトで贈れるフラワーギフト

農業労働力不足への対応

対策

- ・帰国が困難な外国人技能実習生の**在留延長**を可能に（6ヶ月）
- ・他分野に従事していた技能実習生が**職業を変えて就業**を可能に（最大1年）

対策

- ・「**農業労働力確保緊急支援事業**」により、求職者と求人農家の**マッチング**を後押し

1 即戦力人材・多様な人材による援農支援

交通費 3万円/月以内	宿泊費(居住費) 6,000円/泊以内	保険料 実費	労賃 500円/時間以内 (10時間/日)
----------------	------------------------	-----------	-----------------------------

2 人材のマッチング支援、他産業界への呼びかけ

- ・農業への求人・求職窓口の設置を都道府県に依頼し、求人・求職の相談を受付・マッチングを支援

- ・他産業界と連携し、休業者・失業者の農業への求職相談窓口を周知。

<連携先> 観光業（宿泊業・旅行業）、外食業、商工会議所、海外青年協力隊等

農業で働いてみませんか？

新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人技能実習生の入国制限が発生し、人手不足に陥っている農業経営体があります。こうした農業経営体と、農業で働きたいと考えている方を繋ぐため、全国段階及び各県に求職の相談窓口を設置します。

農業への求職相談窓口を設置します

- ・求人情報への案内
- ・マッチング相談の受付
- ・求人情報の掲載（全国団体）を実施します。

・全国段階：全国農業会議所
・各県の相談窓口：今後順次公開予定

農業への求職相談については、全国農業会議所 <http://www.farmersbase.co.jp> までお問い合わせ下さい。
(※全国農業会議所へのお問い合わせはメールでお願いたします)

●今後、県段階に相談窓口を設置する予定です。県段階の窓口については、以下のHPでお知らせいたします。
http://www.maff.go.jp/new_farmers/04d0402yokohama/04d0402yokohama.html

Q. どのような仕事がありますか？

A. 野菜の収穫、果樹の手入れなど、受入産業経営体により業務は変わります。給与・勤務時間等の諸条件についても、個別のケースによります。なお、未経験者の場合、研修を受けられる仕組みもあります。

Q. 農業で働くことの魅力は？

A. 農業は、四季を感じながら、自然と共に生きる仕事の一つです。人間が生きていく上でなくてはならない食物をつくり、地域社会に貢献することになります。

(作成) 農林水産省経営局就業・労務課

農業経営体とのマッチングによる農業労働力の確保

- ・各地でのマッチング活動により、800名程度の労働力が確保。（5月25日現在）
- ・他分野の外国人技能実習生25名が農業分野でマッチング。（5月18日現在）

A 群馬県嬭恋村（キャベツ）

- ・技能実習生220名程度の不足に対し、JA・事業組合等が連携し、休業中の宿泊施設・飲食店等から180名程度を確保。

B 長野県佐久市他（レタス）

- ・技能実習生800名程度の不足に対し、JA・県等が連携し、宿泊施設従業員等（外国人を含む）から500名程度を確保

C その他

- ・北海道名寄市で自治体・JA職員51名（延べ240名）が野菜農家に派遣
- ・福島県で福島大学の学生20名が果樹農家でアルバイト



農林漁業者・食品関連事業者への支援策

農林漁業者・食品関連事業者の皆様へ

どこよりも早く、簡単に探せる! コロナ支援策の探し方

農林水産省では、新型コロナウイルス感染症に対する支援策を分かりやすく取りまとめ、HPに掲載しています。令和2年度第2次補正予算の成立等を受け、**新たな事業を創設するなど、より充実した支援**となっています。

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html



農林水産省 コロナ支援 検索

農林水産省による支援策（事業者向け）

- 経営継続補助金、肉用子牛生産者の支援、高収益作物の次期作に取り組み生産者の支援等



農林漁業者
の皆さまへの支援策



https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html#nori



食品関連事業者
の皆さまへの支援策



https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html#shokukoku



その他の支援策
(フードバンクなど)



https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html#sonota

支援策をまとめた冊子（パンフレット）も作成しています！

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/shiensaku_R0206.pdf



他省庁による農林漁業者・食品関連事業者が活用可能な支援策

- 持続化給付金、雇用調整助成金、家賃支援給付金、地方創生臨時交付金等

都道府県・市町村等による2,500を超える支援策

- 農林漁業者・食品関連事業者が活用可能な47都道府県・市町村等の独自の支援策を紹介しています
- 地方創生臨時交付金の農林水産分野での活用の参考となるアイデアを紹介しています

都道府県・市町村等
の独自の支援策はこちら

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/maff_municipal_coron.pdf



お問い合わせ 農林水産省 大臣官房地方課災害総合対策室 担当：大川、香泉

☎ 代表 03-3502-8111（内線3147） / 03-6744-1856 ☎ 03-6744-7158

農林水産省



http://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/shiensaku_R0206.pdf

コロナ禍で影響を受けた農産物の緊急支援

コロナ禍で、外食需要の減少等により在庫の滞留等が生じている品目について、農林漁業団体や民間団体が行う、学校給食への提供やネット販売、販路多角化等の販売促進の取組を緊急的に支援。

こうした取組への理解・共感を広げる活動（#元気いただきますプロジェクト）を展開。

対象品目が事業ごとに異なる

インターネット販売推進

送料の実費支援

販路多角化

デリバリー、店頭販売への新たな取組を支援

（食材費、容器包装費の1/2）

食育推進

子供食堂等へ提供する食材費を支援

（食材費、加工費、輸送費の
かかり増し経費）

地域での販促

販促キャンペーンで使用する食材費等を支援

（食材費、イベント経費の1/2）

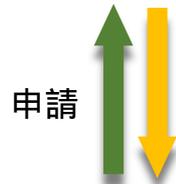


#元気いただきますプロジェクト

キャッチコピー：あなたのひとくちが、ニッポンを元気にする

地域での販促キャンペーンでの活用例

農林水産省（実際の交付事務は、補助事業者（事務局）が担当）



「〇〇のめぐみ（和牛ほか本事業対象品目）特別販促キャンペーン（仮称）」用の
食材費と イベント経費について、1/2補助

物産協会、農業公社、
産業振興公社、
観光協会、DMO 等

請求

食肉卸 / JA

発注・支払い

イベント経費（50万円）

イベント経費1/2の25万円分に、
農林水産省事業を活用

納品

和牛を卸売価格5,000円/kgで
販売・購入した場合
1/2の2,500円/kgには、
農林水産省事業を活用

「〇〇のめぐみ」お得なスペシャルキャンペーン（仮称）
@ 商店街

総事業費の1/2を農林水産省事業が補助

〇〇商店街のスーパー / 肉屋 / 魚屋

- ・〇〇牛「もう1枚」1週間キャンペーン
- ・Let's 手巻き寿司ウィーク！
など



商店街加盟飲食店

新メニューお披露目キャンペーン

店内のほか店頭販売・テイクアウト・デリバリーにも



- U 本資料中の数値は、理解促進に資するよう設定した仮の一例
- U キャンペーン実施期間については、連続又は非連続で、合計14日間以内
地方公共団体と連携する場合は連続1か月